

第28回プラズマ技術委員会議事録

日時： 2006年11月10(金)12:00~13:00

場所： 愛媛大学総合情報メディアセンター1F

出席者：小野茂委員長(武蔵工大)、行村副委員長(同志社大)、八田委員(高知工大)、長山委員(核融合研)、神野現地委員(愛媛大)、池畑幹事(茨城大、書記)

配布資料：

PST28-1 第27回プラズマ技術委員会議事録(案)

PST28-2 平成19年度プラズマ研究会の開催予定(小野委員長)

PST28-3 平成18年度電気学会北陸支部シンポジウムについて(上杉委員)

PST28-4 日本物理学会との連携について(小野幹事)

PST28-5 電子投稿システム導入のためのカテゴリー分けについて(小野委員長)

PST28-6 国際会議の予定について(行村副委員長)

PST28-7 国際会議“Sixth IAEA Technical Meeting on Control, Data Acquisition, and Remote Participation for Fusion Research”について(長山委員)

議事：

1. 27回プラズマ技術委員会議事録配布資料PST28-1に基づいて確認し、出席者の所属や文言について若干の修正を加えた上で承認された。

2. 平成19年度のプラズマ研究会の開催について配布資料PST28-2にもとづいて議論した。平成19年度は電気学会の他の会合や関連する国際会議の国内開催が多いことから、プラズマ研究会は3回開催を予定することとした。概ね7月に東京または原研開催(担当：小野幹事)、9月に北海道開催(担当：佐藤委員)12月に関西開催(担当：行村副委員長)で準備を進めることとした。

なお、平成20年全国大会でのシンポジウムの企画をプラズマ技術委員会から提案したいので、今後検討することになった。

3. 平成19年1月、金沢開催の研究会の計画について、上杉委員から提出された配布資料PST28-3をもとに委員長から説明があった。1月25日(木)は電気学会北陸支部シンポジウム、26日(金)にプラズマ研究会を開催する。プラズマ研究会参加者のシンポジウムへの参加を期待している。25日に懇親会を合同で開催する予定。

4. 日本物理学会との連携について、小野幹事から提出された配布資料PST28-4にもとづいて議論をおこなった。日本物理学会では特にプラズマ応用関連で電気学会との連携を期待している。例えば、電気学会部門大会、物理学会年会で共通セッションを設けたり、研究会を共同開催するなどが考えられる。小野委員長を通じて、プラズマ技術委員会として今後の検討に参加することになった。

5. 電子投稿システム導入のためのカテゴリー分けについて、小野委員長より、配布資料28-5のように提出したとの報告があった。なお、電気学会ではJohn Wiley & Sonsとの連携により共通英文論文誌のSCI登録に取り組んで行く予定である。

6. 配布資料28-6にもとづいて、平成19年度に開催されるプラズマ関連の国際会議について行村副委員長から説明があった。来年度は国内開催の国際会議が多く、プラズマ研究会の日程を決める際に配慮が必要である。

7. 長山委員より配布資料28-7にもとづいてIAEA国際会議(犬山市)の説明があり、電気学会に対する後援の依頼があった。技術委員会として了承した。

以上。